

なこみ

総合老人福祉施設
ゆあほうむ椋原
2018年【冬号】
Vol.22

<編集・発行>
社会福祉法人豊生会
ゆあほうむ椋原広報委員会
奈良県宇陀市椋原長峯200-1
TEL:0745-82-8111
H30.12.10発行

タイトル題字は特養ご利用の楠喜美子様に書いていただきました



human note
ヒューマンノート

椋原東小学校なかま学級様慰問

7月6日(金)、本館2階特養レストラ
ンにて椋原東小学校なかま学級の皆
様が交流会に来てくださいました。当日は
4〜6年生の皆様25名が「ふるさと」の
リコーダー演奏や「七匹の子やぎ」、「ネ
ズミの婿探し」の2題を劇で、「浦島太郎
」を紙芝居で披露してくださいました。
生徒の皆様は「緊張しました」と話さ
れながらも、堂々と演技をされていて、
ご覧になったご利用者様も「すごく上手
やった」と笑顔で感想を述べられていま
した。ご利用者様はリコーダー演奏など
に合わせて一緒に歌を唄われたり、手拍
子などをして楽しんでおられました。
なかま学級の皆様、いつも素晴らしい
演目をありがとうございます。



「大きな力
ブ」の劇で
は、ご利用
者様も一
緒に「うん
とこしょ
!どっこ
いしょ!」
という掛
け声に合
わせて一
緒にカブ
を引いて
おられま

第2回お話しクラブ様慰問

8月17日(金)に今月2回目のお話し
クラブ(夏休みジュニア隊)様が来てく
ださいました。

まずは、体操と指体操をご利用者様と
一緒にしてください、「きみとぼくのあ
いだに」を手話で、「つみやま合戦」を劇
で披露してくださいました。
「貨物列車」や「あなたがたどこさ」の歌
に合わせて、お子様
達がお利用者様と
ジヤイケンや手遊び
をして回って下さり、
帰られる際には握手
をして下さいました。



お子様達と直接触れ合われる機会には
複数人のご利用者様が感激して涙してお
られました。お話しクラブの皆様ありがと
うございました。



彼岸法要

9月25日(火)、秋の彼岸法要を行いました。
故人を偲び、ご利用者様と職員でお焼香を
しました。



ご寄附

9月29日(土)、たくさんさんのサツマイモを
ご寄附いただきました。
実りの秋、早速季節の食材として甘煮し
ーズン添えやきんぴらなどにしてご提供
し、おいしく頂きました。誠にありがとうございます。



特養からのご報告

ゆあほうむフェスティバル

9月8日(土)、2018ゆあほうむ
フェスティバルが開催されました。今
年も、開始の時間までご利用者様、職
員共にドキドキハラハラした時を過
してしまいました。

なぜか……???

それは、昨年開催予定だったフェス
ティバルが悪天候の為、残念ながら中
止となったからです。そして今年も、
午前中より天候が悪く時折雨も降っ
ていましたが、天気の回復を信じ、中
止とせず当日の準備を続けていま
しました。すると「今年こそは!!」という
職員の強い思いが届いたのか、夕方よ
り雲が切れ日差しが現れ、今年は無事
にフェスティバルを開催する事が出
来ました。

今年のフェスティバルも豪華なゲ
ストをお招きし、歌や踊り・太鼓など
様々なジャンルの催しを披露して頂
きました。

●八千代会の皆様による盆踊り
●世界に歌を届ける「ヒューマンノ
ート」の皆様のお歌

ヒューマンノート様は、HUMAN
(二人、人間)NOTE(二音)「一人一
人に物語があり一人一人にその人の
音、歌がある。何百人で歌おうと一人
一人が輝き自分の音を奏でる」約70
0人の歌手の方々が構成された団体
です。オリジナルの楽曲を通じて「ウ
タのチカラ」を届けるコンサートを中
心とした《アーティスト活動》と学校
や病院、福祉施設、被災地などにウ

RUN伴

10月21日(日)、秋晴れの日差しが温かく
感じるこの日はRUN伴2018が開催
され、当施設職員から8名が参加しました。
RUN伴とは、認知症の人や家族、支援者、
一般の人がリレーをしながらか、ひとつのタス
キをつなぎ、ゴールを目指すイベントです。

開催当日は、朝8時15分に宇陀市役所に
て出発式を行い、うだの里様、大宇陀ラガ
ール様、四つ葉のクローバー様、室生園様、
悠楽園様、さんとびあ椋原様、ひまわり様、
ぎずな様、ゆあほうむ椋原等、宇陀市内18カ所
ほどのポイントを經由します。お昼13時30分
過ぎ頃、ゆあほうむの玄関前でタスキを
受け継ぎ、応援に集まってくれたご利用者
様や職員
からの拍手や歓
声に見送られ当
施設を出発しま
した。そして再び
宇陀市役所へ戻
る総距離 59kmの
コースをランと
車で走行し桜井
市にタスキをつ
なぎます。201
8年は、北は北海
道から南は沖縄
までタスキをつ
なぎます。



を届ける《ホスピタリティ活動》を軸
として活動され、またその活動は海外
にも及んでいます。

●和太鼓「椋」の皆様による太鼓演奏
また職員も負けじとダンス・ファイ
ヤートーチといった出し物を披露さ
せて頂きました。



昨年は中止となり、今年も開始まで
不安定な天候で最後まで油断できな
い中、開催されたフェスティバルのフ
ィナーレを飾る打上げ花火は格別で
感動的なエンディングで終えること
ができました。

「来年こそは一日良い天気でありま
すように」(笑)



